

事務事業名		子ども郷土芸能まつり開催支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業				
政策体系	政策名	0 3 豊かな心を育む人づくりの推進		事業期間		予算科目				
	施策名	1 3 地域の歴史・文化資源の継承				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	0 2 伝統文化の継承				01	10	04	02	12
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (計画期間) 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分				
所属	部課名	教育委員会事務局教育総務課				A 政策事業 B 施設整備				
	課長名	遠藤 和枝				C 施設管理 D 補助金等				
	係名	文化財係	電話			27-3111	E 一般(A～D以外)			
	担当者	佐々木 智紘	内線	296						
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)						
民俗芸能の後継者育成を図るため、隔年で実施する大船渡市子ども郷土芸能まつり実行委員会に補助金を交付する事業。 事業の内容は、①補助金交付申請受付、②申請内容審査、③補助金交付決定、④補助金精査に係る審査等				総投入量 (千円)	事業費	財源内訳	国庫支出金			
							都道府県支出金			
							地方債			
							その他			
							一般財源			
							事業費計(A)	0		
							正規職員従事人数			
				延べ業務時間						
				人件費計(B)	0					
				トータルコスト(A)+(B)	0					

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2・3年度の2年連続で、催事が次年度へ延期となった。  今年度計画(今年度に計画している主な活動) 市子ども郷土芸能まつりの開催支援を行い、児童生徒の民俗芸能発表の場を設けることで、次世代に継承されるための機会を創出する。	⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 補助金交付回数 回 イ ウ	
	② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 大船渡市子ども郷土芸能まつり実行委員会	⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 子ども郷土芸能まつり出演団体 団体 キ ク
	③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 円滑に事業を運営してもらう。	⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 市補助金額 千円 シ ス
	④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) 子ども郷土芸能まつりを通じて、多くの児童生徒が民俗芸能に興味・関心を持つことにより、市内各地域に伝承される民俗芸能が次世代に継承される。	

(2) 総事業費・指標等の推移									
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	0	0	500	0	400	0
	事業費計(A)		千円	0	0	500	0	400	0
	人件費	正規職員従事人数	人			3		3	
		延べ業務時間	時間			150		100	
		人件費計(B)	千円	0	0	600	0	400	0
		トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	1,100	0	800
⑤活動指標		ア	回	-	-	1	-	1	-
⑥対象指標		カ	団体	-	-	7	-	7	-
⑦成果指標		サ	千円	-	-	500	-	400	-

事務事業ID	1057	事務事業名	こども郷土芸能まつり開催支援事業
--------	------	-------	------------------

**(3) 事務事業の環境変化・住民意見等**

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？  
旧三陸町で合併前から「三陸郷土芸能まつり」として実施していた。合併後は青少年が民俗芸能を披露する場として後継者育成という主旨で実施している。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？  
近年、民俗芸能の後継者不足が懸念されており、対策が必要である。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？  
住民、民俗芸能団体から継続して実施して欲しいとの意見がある。

**2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価**

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】

**3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)**

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	(2) 改革・改善による期待成果 左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。(終了・廃止・休止の場合は記入不要)																				
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 民俗芸能の担い手や指導者の確保が難しく、出演団体が減少している。事業を継続するにあたって、市郷土芸能協会とは他催事等との統合に向けて調整を図っている。今後は財源に係る情報収集やより効果的の効率的な実施に向けた運営主体の検討等が必要である。	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上	●																				
維持			×																		
低下		×	×																		

**4 課長等意見**

(1) 今後の方向性 1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 隔年実施であるが、コロナ禍により平成30年度以降、実施できていない。民俗芸能の後継者育成と披露の場として貴重な機会となっていることから、効果的な事業の在り方について関係団体と協議を行う必要がある。
---	---